

## ハイブリッド加湿器

品番 **KJ-445HF**

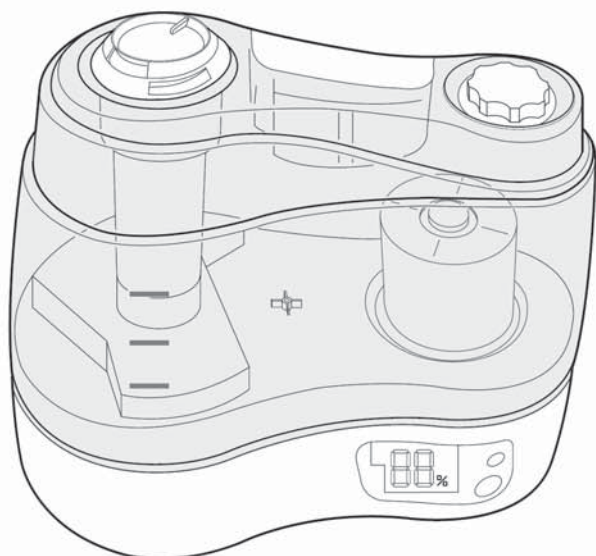
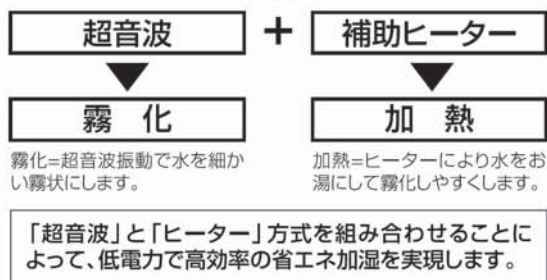
## 取扱説明書

このたびはお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- この商品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に「取扱説明書」を最後までよくお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保存してください。

ハイブリッド機能で **低電力** **高効率** **快適加湿**

## ハイブリッド





## もくじ

- 安全上のご注意 …………… 1～2
- ご使用にあたってのお願い …… 3～4
- 各部のなまえとはたらき …………… 5
- 使いかた …………… 6～10
  - タンクに水を入れる …………… 6
  - 運転のしかた …………… 7
  - 自動運転について …………… 8
  - 強制「弱運転」について …………… 9
  - ハイブリッド加湿機能の使いかた …………… 10
  - 運転を停止する …………… 10
  - タンクの水がなくなったら …………… 10
- お手入れと保管 …………… 11～12
- 修理を依頼される前に …………… 13
- 消耗部品について …………… 14
- 仕様 …………… 15
- 保証とアフターサービス …………… 15



# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずお読みください。また、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。



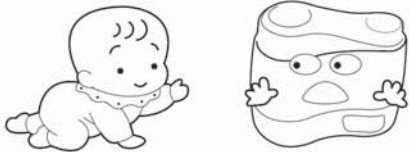







\*ここに示した注意事項は、加湿器を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を『警告』と『注意』に区分しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



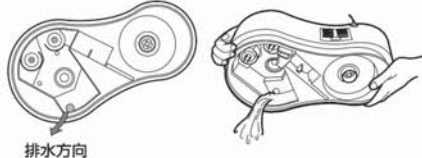




## 図記号の意味と例

	⊘ 記号は、「してはいけないこと」を意味しています。 図の中に具体的な禁止内容(左図は分解禁止)が描かれています。
	● 記号は、「しなければならないこと」を意味しています。 図の中に具体的な指示内容(左図は差し込みプラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。









## 警告


 <b>分解禁止</b>	<p>改造はしない。また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。</p>	 <b>禁止</b>	<p>幼児の手の届く範囲で使用しない 感電・けがの原因になります。</p> 
	<p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</p>		 <b>禁止</b>
 <b>禁止</b>	<p>電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。</p> 	 <b>使用禁止</b>	<p>本体内部のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使用しない 霧化部に洗浄剤が残り、有毒ガスが発生したり故障の原因になります。</p>
		 <b>使用禁止</b>	 <b>水ぬれ禁止</b>
		 <b>プラグを抜く</b>	<p>お手入れの際は必ず差し込みプラグをコンセントから抜く 感電やけがの原因になります。</p>

## 警告

 <p><b>プラグを抜く</b></p> <p>異常時(こげくさい臭いなど)は、<b>運転を停止して差し込みプラグを抜く</b> 異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。</p>	 <p><b>排水方向から</b></p> <p>排水方向から排水する 排水方向を誤ると、本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。</p>  <p>排水方向</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> <p>排水時は必ず先に差し込みプラグを抜いてください。</p> </div> <p>(☞排水のしかた 11ページ)</p>
 <p><b>禁止</b></p> <p>吹出口や本体のすき間にピンや針金などの異物を入れない 感電やけがの原因になります。</p>	 <p><b>ぬれ手禁止</b></p> <p>ぬれた手で、差し込みプラグを抜き差ししない 感電の原因になります。</p> 
 <p><b>禁止</b></p> <p>交流100V以外では使用しない 火災・感電の原因になります。</p>	


## 注意

 <p><b>プラグを持って抜く</b></p> <p>差し込みプラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く 感電やショートして発火することがあります。</p>	 <p><b>禁止</b></p> <p>不安定な場所には置かない 水がこぼれて床をぬらしたり、故障の原因になります。</p>
 <p><b>プラグを抜く</b></p> <p>使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く けがややけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。</p>	 <p><b>禁止</b></p> <p>使用中は本体を持ち運ばない 水がこぼれて床をぬらしたり、故障の原因になります。</p>
 <p><b>禁止</b></p> <p>使用中や使用直後はお手入れをしない。 けがややけどの原因になります。</p>	 <p><b>水を入れ換える</b></p> <p>水タンクの水は毎日新しい水道水に入れ換える 水槽部に残っている水も、ご使用のつど捨ててください。また、水槽部や霧化部は1週間に1~2回以上はお手入れして常に清潔な状態でお使いください。</p>
 <p><b>禁止</b></p> <p>水タンクをはずして使用しない 水が飛び散って床をぬらしたり送風筒から水が入り故障の原因になります。</p>	 <p><b>禁止</b></p> <p>電気製品やパソコン・精密機器などがあるところでは使用しない 湿気や白粉の影響により、機器の故障を引き起こす場合があります。</p>



**プラグの点検**

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を  
長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり湿気が加わることで電流が流れ、火災の原因になることがあります。差し込みプラグが外れかけていたり、破損したりしている場合は特に危険です。◆思わぬ事故を防ぐために…●コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。●差し込みプラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。●コンセントや差し込みプラグに異常がないか確かめる。



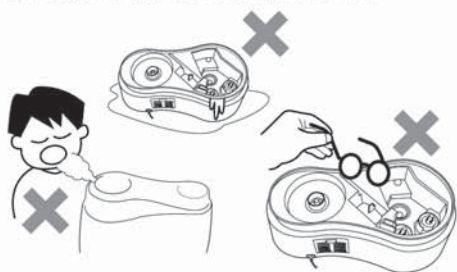
てんけん

# ご使用にあたってのお願い

●事故や故障などを防ぐために、必ずお守りください。

水タンクをはずして使用したり、加湿以外の目的では使用しない

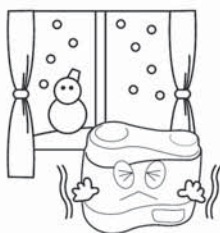
床をぬらしたり、故障やけがなどの原因になります。



凍結に注意する

凍結のおそれがあるときはタンクと本体の水を捨ててください。

凍結すると、故障の原因になります。



タンクを本体にセットした後や、本体に水が入っているときは、移動させたり持ち運んだりしない

水がこぼれて周囲を濡らしたり、機器の中に水が入って故障の原因になります。

水の入っていないときや本体を倒した状態では絶対に通電しない

霧化部(振動子)に悪影響を与え、故障の原因になります。

本体内のお手入れをこまめにおこなう

水槽部や霧化部に水あかなどが付着したまま使い続けると、誤動作したり、故障の原因になります。(「お手入れのしかた」11ページ)

水を入れた水タンクを床やテーブルなどに直接置かない  
水タンクの底に付着した水滴がこぼれたり、タンクキャップから水が漏れて周囲を濡らすことがあります。

加湿しすぎない

加湿しすぎると室内を濡らしたり、故障の原因になります。

## 設置場所のご注意

本機は高加湿力タイプの加湿器です。設置場所や設置方法によっては、加湿器周辺の家財などに悪影響を及ぼすことがあります。

以下の設置場所に関するご注意事項をよくお読みになり、正しくご使用ください。

### 次の場所では使用しない

直射日光が当たる場所や暖房機の上または近く

変形・変色をしたり、誤動作することがあります。



磁気の多いところ

誤動作の原因になります。



カーペットやふとんなどの上

本体底面の吸気口がふさがれると誤動作や故障の原因になります。



湿度の高いところ

故障の原因になります。

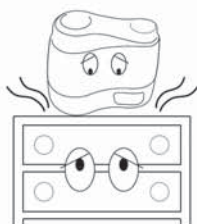


人がよく通るところ

ぶつかったり、電源コードに引っかかると、加湿器が倒れて水がこぼれたり、故障の原因になります。

熱に弱い家具や床などの上

本体底面の熱により変色したり変形の原因になることがあります。



高いところや傾いた場所

地震や、人が触れて落下したり、転倒する原因になります。傾いた場所に設置すると、水位検出装置が誤動作をおこし、運転の停止や水漏れの原因になります。

暖房機や電気製品の上

加湿器が倒れて水がこぼれたり、感電や故障の原因になります。

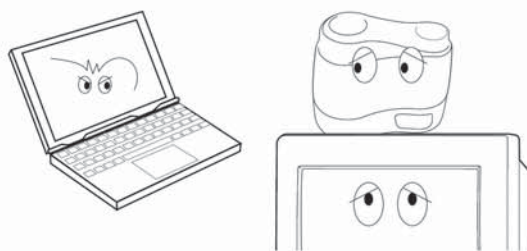
## ご使用にあたってのお願い

### パソコン／携帯電話の近くや、テレビ／オーディオの上に加湿器を設置しない

水をこぼしたり霧が直接かかると、電化製品が濡れて、火災や感電、故障の原因になります。

また、霧に含まれる白い粉\*が電化製品内部に付着して故障の原因になる場合があります。

電化製品のある部屋では、「吹き出しノズル」の向きを調節したり「弱運転」にして、加湿のしすぎに十分ご注意ください。



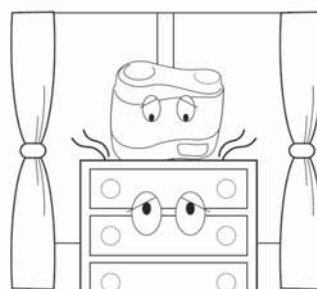
### 家具やカーテンの近くに加湿器を設置しない

霧が直接かかると家具やカーテンが濡れて、変質や変色、カビや異臭の原因になります。

また、霧に含まれる白い粉\*が、家具などの表面に付着する場合があります。

通常は濡れたタオルなどでふき取れますが、家具の材質、表面処理によっては取れにくい場合があります。

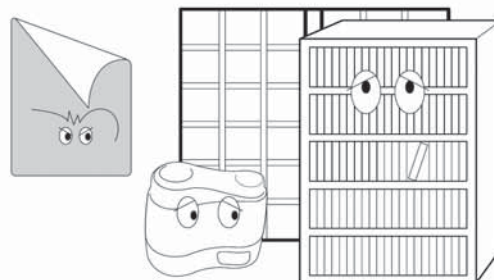
高級家具のある部屋では、「吹き出しノズル」の向きを調節したり「弱運転」にして、加湿のしすぎに十分ご注意ください。



### ふすまや障子、書物、ポスターなどの紙類や壁などの近くに設置しない。

霧が直接かかると、変色やシミの原因になる場合があります。

「吹き出しノズル」の向きを調節したり「弱運転」にして、霧が直接かからないように十分ご注意ください。



### お知らせ

加湿器を床や畳の上に直接設置した場合、加湿量が多すぎると霧により床や畳が濡れる事があります。

ご使用環境に合わせて加湿量を調節し、加湿のしすぎに十分ご注意ください。

### \*上手な使いかた(白い粉について)

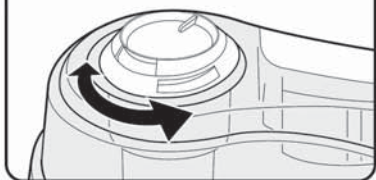
本機は「超音波」+「ヒーター」のハイブリッド式を採用しております。省エネ・静音にすぐれた設計ですが、構造上、霧に含まれる「白い粉」が周辺に残ることがあります。

この白い粉は、霧(水道水)の中の「カルシウム」や「マグネシウム」成分であり、人体には無害ですが家財などに大量に付着すると悪影響をおよぼすことがあります。

白い粉が目立つときは、ご使用の環境にあわせて加湿の量や吹き出しノズルの向きを調節して上手にお使いください。

# 各部のなまえとはたらき

2つの吹出口の向きが自由に換えられ、それぞれ別の方向に調節できます。



\* 吹き出しノズルは梱包材の中に収納されています。水タンクに取り付けてお使いください。

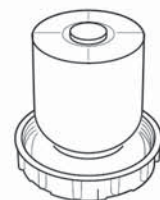
## イオン交換フィルター(着脱式)

※消耗部品

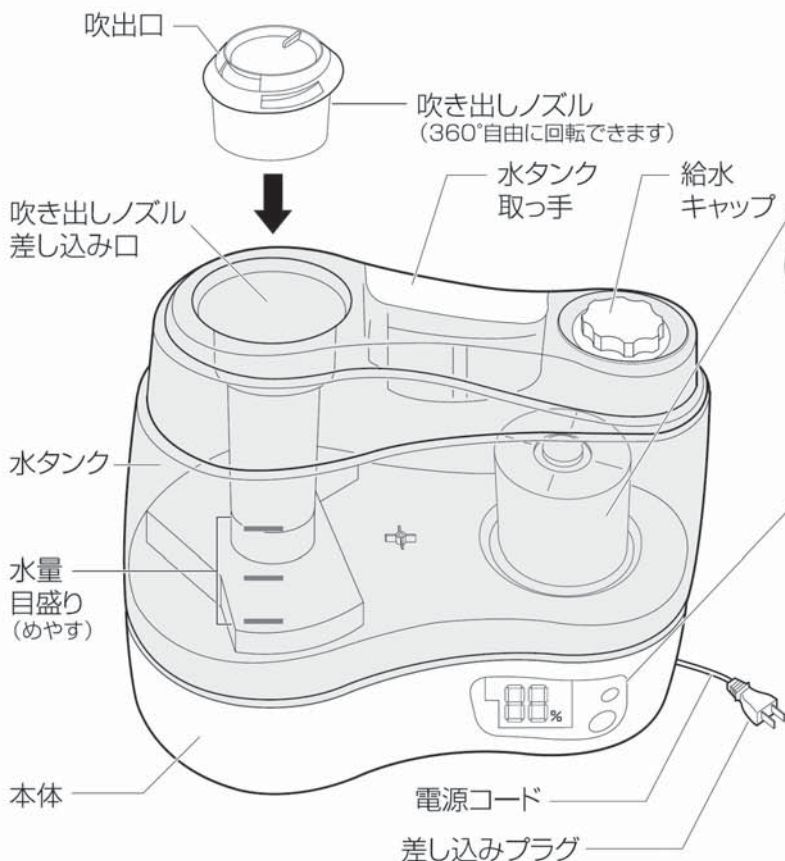
水道水に含まれているカルシウム分やマグネシウム分をイオン交換によって取り除き、水あかなどの付着を軽減します。(P.14ページ)

### ご注意

イオン交換樹脂が少し溶け水槽内の水が薄茶色になりますが、性能、安全面は問題ありません。



タンクキャップ



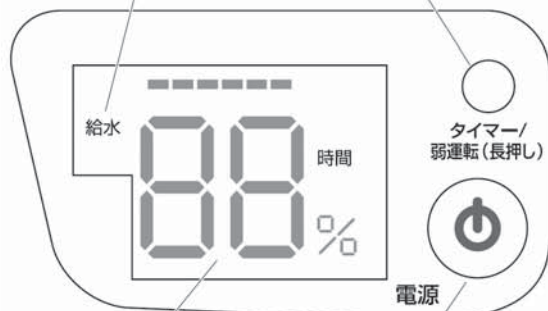
## 操作部

### 給水表示

水がなくなると赤色に点灯します。(P.10ページ)

### タイマー/弱運転ボタン

タイマー設定/強制弱運転をおこないます。(P.9ページ)



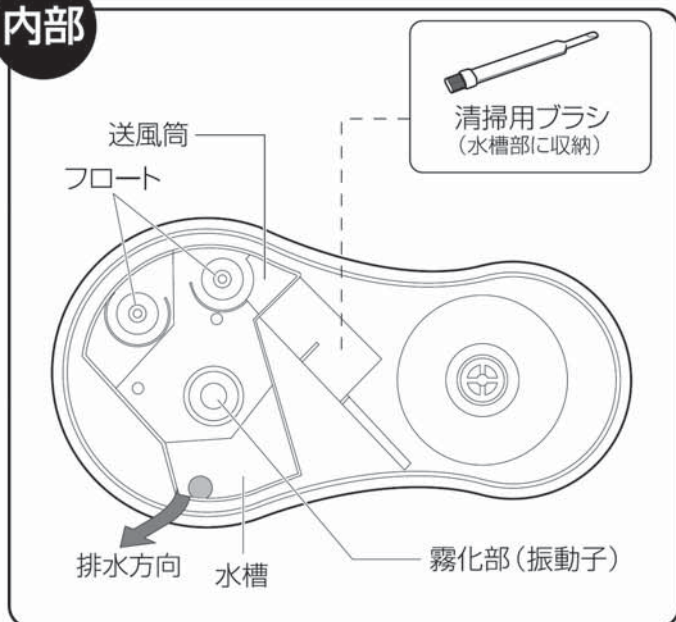
### 表示パネル

現在湿度/タイマー設定時間などを表示します。(P.8~9ページ)

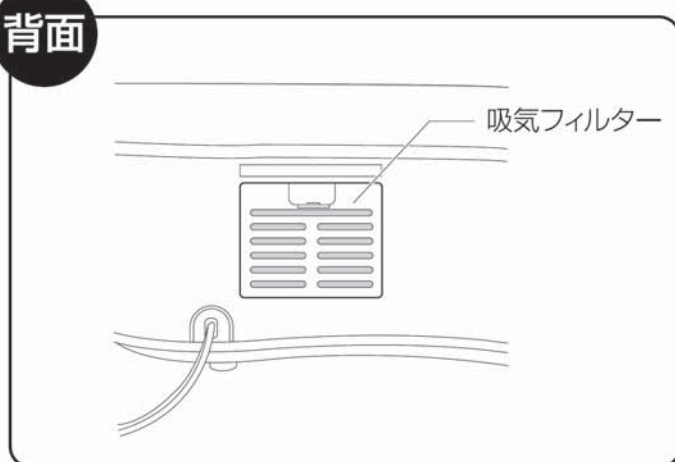
### 電源ボタン

電源を「入」「切」します。(P.7ページ)

## 内部



## 背面

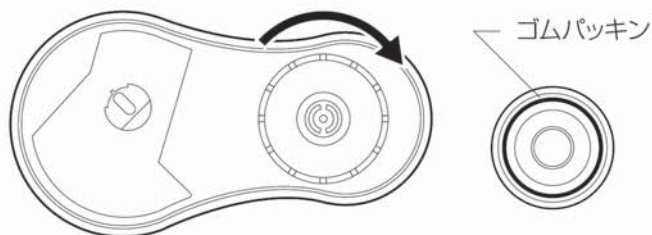


# 使いかた

## タンクに水を入れる

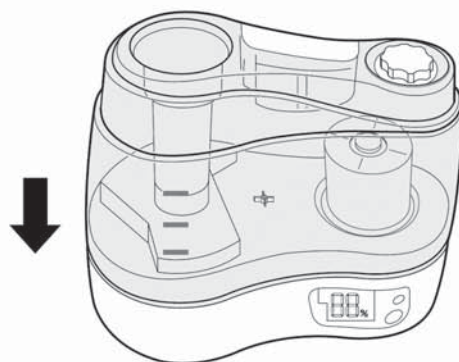
### 1 タンクキャップをしっかりと閉める

- ・ゴムパッキンがタンクキャップに取り付いていることを確認してください。また、キャップはしっかりと締め付けてください。  
ゴムパッキンが取り付いていなかったりキャップの締め付けが弱いと、水漏れの原因になる場合があります。

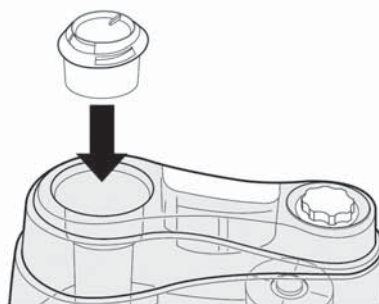


### 2 本体に水タンクを取り付ける

- ・水タンクに水が入っているときは、水タンクを傾けたり持ち運んだりしないでください。  
水がこぼれて周囲を濡らしたり、機器の中に水が入り故障の原因になります。



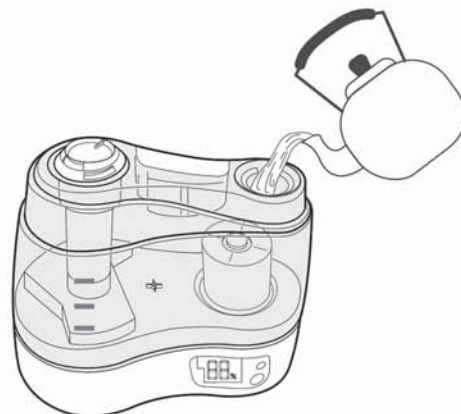
### 3 水タンクに吹き出しノズルを取り付ける



### 4 給水キャップをはずし、やかんやペットボトルなどを使用して水タンクに水を注ぐ

- ・給水後は給水キャップをしっかりと締め付けてください。
- ・本体や水タンクにアロマオイルや芳香剤、洗剤、化学薬品、温水（40℃以上）などを入れないでください。  
水タンクや内部の部品に悪影響を与え、故障の原因になる場合があります。
- ・水道水以外の水を入れないでください。  
水の成分によっては内部に悪影響を与え、故障の原因になります。
- ・本体や吹き出しノズルに直接水を入れないでください。  
本体内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・水タンクをぶつけたり落としたりしないでください。  
水タンクの破損により水漏れの原因になります。
- ・水タンクの水は毎日交換して、常に清潔にご使用ください。
- ・水タンクをセットした後は、本体を移動したり、水タンクの取り付け／取りはずしを繰り返さないでください。  
水がこぼれて周囲を濡らしたり、故障の原因になります。
- ・本機は水タンクをはずさずに給水できます、  
お手入れ時以外は水タンクをはずさないでください。  
水がこぼれて周囲を濡らしたり、故障の原因になります。

満水で約4.5リットル  
入ります。



# 使いかた

## 運転前に知っておいていただきたいこと

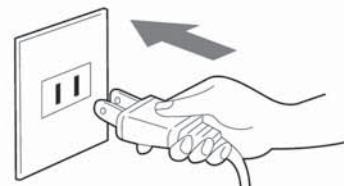
- 初めてご使用になるときや水を入れ替えたときは、給水ランプが点灯し霧が出なかったり、霧が出るまでに時間がかかります。  
これは、水が「イオン交換フィルター」を通過したり、本体水槽内に水が行きわたるまでに時間がかかるためです。この場合は、水タンクに水を入れてから5～10分程度まってから電源を入れてください。
- イオン交換フィルターにより水が茶色に着色されることがあります。  
本機に使用しております「イオン交換フィルター」は内部のイオン交換樹脂の作用により、使い始めに水槽内の水が茶色に着色することがあります。そのままご使用いただいても、安全面や性能面に支障はございません。気になるときは、一度水槽内の水をすべて捨てていただき、再度水タンクを本体に取り付けてからご使用ください。
- 水タンクに水を入れてから運転停止状態で長時間放置しないでください。  
運転停止状態では水タンク内の圧力が上がり、水漏れの原因になることがあります。ご使用時以外は必ず水タンクと水槽内の水を全て抜いておいてください。(水槽内の排水のしかたは11ページを参照してください。)
- 運転を始めた直後は給水ランプが点灯し霧が出なかったり、霧が安定しないことがあります。  
これは水道水の水温や水質により振動子での霧化が安定するまで時間がかかるためです。10～15分運転することにより、給水ランプが消灯し霧が出はじめ、徐々に霧の量が安定してきます。

## お知らせ

ガスコンロなどの近くで加湿器を使用したとき、まれに炎が赤くなることがあります。これは霧に含まれる水道水の成分が炎に反応(炎色反応)するもので故障ではありません。気になるときは、加湿器の設置場所を変えてください。

## 運転のしかた

- 1 差し込みプラグをコンセント(交流100V)に差し込む



### ⚠ 警告

- 電源コード・差し込みプラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。  
感電・ショート・発火の原因になります。

### ⚠ 注意

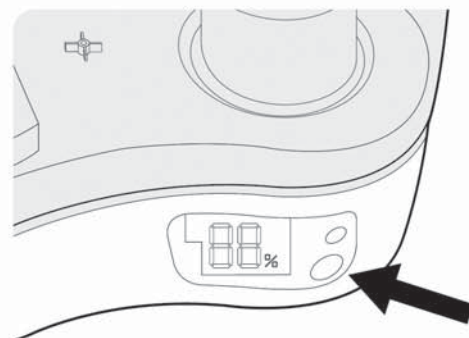
- 水のない時や本体を倒した状態では絶対に通電しないでください。  
故障の原因になります。

- 2 電源ボタンを押す

- メロディが流れ、表示パネルが点灯し、検出湿度などを表示後、運転を開始します。
- 吹き出し口から霧が出始めます。

### お知らせ

運転を始めた直後は霧が安定しないことがあります。10～15分運転することにより、徐々に霧の量が安定してきます。





## 自動運転と強制「弱運転」について

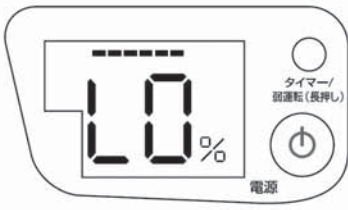


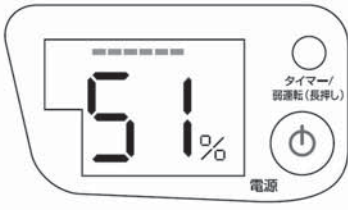
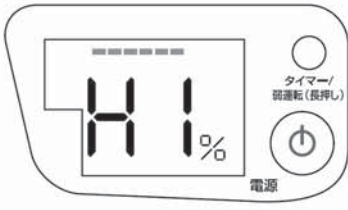
本機は湿度検出センサーを内蔵しています。

お部屋の湿度を検出して加湿量を調整する自動運転と、検出湿度に関わらず強制的に弱運転しつづけるモードを選択できます。

### 自動運転について

自動運転中は、湿度検出センサーが検出した湿度がパネルに表示されます。(標準湿度は55%を設定しています。)

自動運転中の表示の例

検出した湿度	自動運転の状態	表示の例	内容
25%以下	強運転で加湿		お部屋の中が乾燥していることを示しています。 バーは赤色で点灯 数値はLO%と表示
26~45%	強運転で加湿		湿度が低いことを示しています。 バーは赤色で点灯 数値は湿度%と表示
46~50%	中運転で加湿		湿度が低いことを示しています。 バーは黄色で点灯 数値は湿度%と表示
51~55%	弱運転で加湿		標準湿度を示しています。 バーは緑色で点灯 数値は湿度%と表示
56%以上	加湿を停止		湿度が高いことを示しています。 バーは緑色で点灯 数値はHIと表示

### お知らせ

表示パネルの湿度「数値%」は、内蔵の湿度検出センサー部の湿度を表示しています。  
実際の室内の湿度とは異なります。

## 強制「弱運転」について

自動運転時に「タイマー／弱運転」ボタンを3秒以上押しつづけると、検出湿度に関係なく、強制的に「弱運転」しつづけます。自動運転中の「強運転」では加湿量が多すぎると感じた場合や本機の検出湿度が56%以上の状態でも引き続き加湿したい場合にご使用ください。

### ●弱運転の解除のしかた

弱運転時に「タイマー／弱運転」ボタンを3秒以上押し続け自動運転に切り替えるか、電源ボタンを押して運転を停止してください。

強制弱運転中の表示の例



### ⚠注意

- 加湿のしすぎに注意してください。加湿量が多すぎると、床や置き台などの表面が濡れることがあります。また、パソコン／携帯電話などの精密機器やテレビ／音響機器などの電気製品、家具などに直接霧がかからないように十分注意してください。(4ページの「設置場所のご注意」をよくお読みください。)

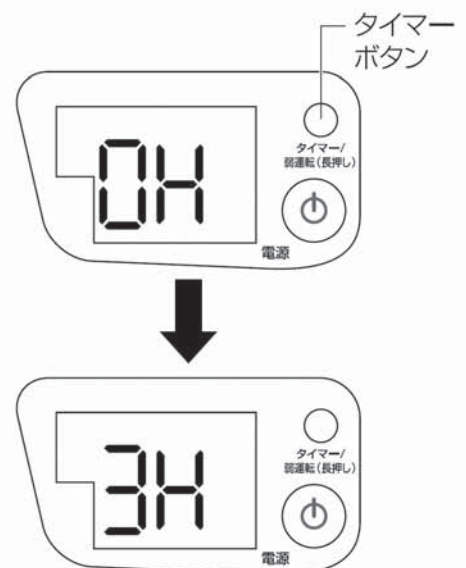
### お知らせ

弱運転の時は、まわりの湿度条件により、霧が見えにくいことがあります。

## タイマー設定について

本機には最大9時間の「切タイマー」機能があります。設定した時間が経過すると運転を停止します。

- 運転中に「タイマー」ボタンを押す。
- 表示パネルに“0H”が約3秒間表示されます。
- “0H”を表示中に「タイマー」ボタンを押すと表示パネルにタイマー設定時間(1H～9H)を表示します。
- ご希望の設定時間を表示中にボタンを押すのをやめた時点で切りタイマー時間がセットされます。
- 切りタイマー時間を設定すると、現在湿度と切りタイマー時間の表示が約3秒間隔で交互に表示されます。
- 自動運転を行い、設定時間後に運転を停止します。
- タイマー設定の解除はタイマー設定運転時に「タイマー」ボタンを押し“0H”で止めるか、電源ボタンを押して運転を停止してください。



## ハイブリット加湿機能とは

本体内蔵のヒーターのはたらきにより、タンクの水を加熱してから霧化部(振動子)に送り、あたたかい霧として吹き出します。ハイブリット加湿機能をお使いいただくことで加湿効率をあげることができます。また、あたたかい霧を吹き出すので周囲の温度もさげません。

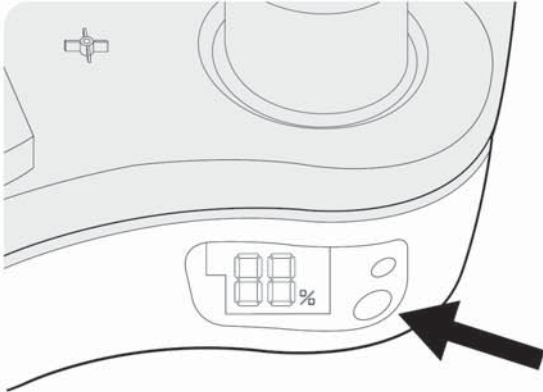
### お知らせ

- \*あたたかい霧が吹き出すまで10～20分程度かかります。(ヒーターが加熱してから水槽内の水をあたたかくするまで時間がかかります。)
- \*本機は約40℃の霧を吹き出しますが、まわりの温度や湿度の状況によっては、霧をあたたかく感じにくいことがあります。

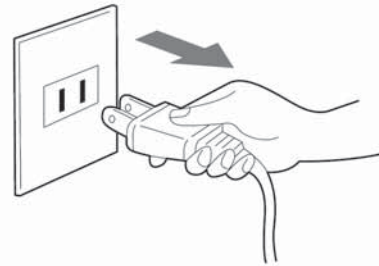
## 運転を停止する

### 1 電源ボタンを押す

- メロディが流れ、表示パネルが消灯し、運転を停止します。



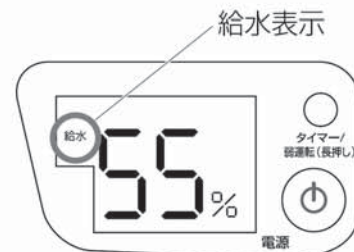
### 2 差し込みプラグをコンセントから抜く



## タンクの水がなくなったら

使用中にタンクの水がなくなると自動的に運転を停止し、表示パネルに給水表示 (赤色) が点灯してお知らせします。

- 本機の運転を停止する場合は上記の **運転を停止する** の手順で、運転を停止してください。
- 続けてご使用になる場合は、6ページ **タンクに水を入れる** の手順で、給水キャップをはずし、やかん／ペットボトルなどを使用して水タンクに水道水を入れてください。



### お願い

- ・ 本機は水タンクをはずさないで給水します。  
水タンクをはずさずにやかん／ペットボトルなどを使用して給水してください。
- ・ 水槽部や霧化部に水あかなどが付着したまま使い続けると、誤動作したり、故障の原因になります。  
水槽部や霧化部は1週間に1～2回程度、お手入れして常に清潔な状態でご使用ください。
- ・ 水タンクの水は毎日交換して常に清潔にご使用ください。

### ⚠ 注意

- ※ 本体や水タンクにアロマオイルや芳香剤、洗剤、化学薬品、温水 (40℃以上) などを絶対に入れてください。  
本体／水タンクや内部の部品に悪影響を与え、故障の原因になる場合があります。
- ※ 水道水以外の水を入れなでください。  
水の成分によっては本体や内部の部品に悪影響を与え、故障の原因になる場合があります。
- ※ 本体や吹出口に直接水を入れなでください。  
本体内部に水が入り故障の原因になる場合があります。
- ※ 水タンクを持ち上げるときは、タオルなどを敷いて床や家具などを濡らさないようご注意ください。  
水タンクを持ち上げると、水タンクの底面に付着した水がこぼれ、周囲を濡らす原因になります。
- ※ 水タンクをぶつけたり、落としたりしないでください。  
水タンクに衝撃を与えると破損して水漏れの原因になります。  
万一、水タンクに大きな衝撃を与えてしまったときは、ご使用を中止し弊社サービスセンター (15ページ) にご相談ください。

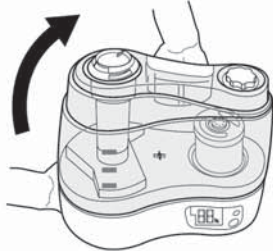
# お手入れと保管

## お手入れのしかた

### 排水のしかた

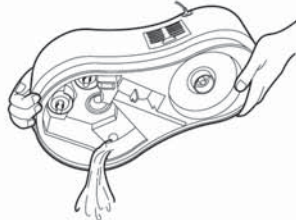
- 排水する前に、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

#### 1 水タンクを本体からはずす



#### 2 本体を図の方向にかたむけて排水する

排水時、送風筒から水が入らないように注意してください。



### ⚠ 注意

- 排水は、必ずお湯がさめてからおこなってください。
- 必ず排水方向から排水してください。排水方向を誤ると、水もれや火災・感電・ショートの原因になります。
- 水タンクを取りはずすときは本体左背面をしっかりとおさえてください。周囲を濡らす原因になります。

### ⚠ 警告

- お手入れの際は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になります。
- お手入れの際は、必ずお湯が冷めてから

### 本体

- 本体外側は、水を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

### ⚠ 注意

- 本体の丸洗いはしないでください。感電や故障の原因になります。
- シンナー、ベンジン、ベンゾール、ミガキ粉、たわしなどを使用しないでください。変質・変色の原因になります。

## 水槽部・霧化部・フロートなど(1週間に1~2回程度)

### 水槽内

- 水を浸した柔らかい布で水槽の内側に付着した汚れを拭き取ってください。
- 細部の汚れは、付属のブラシで落としたあと、柔らかい布で拭き取ってください。

### フロート

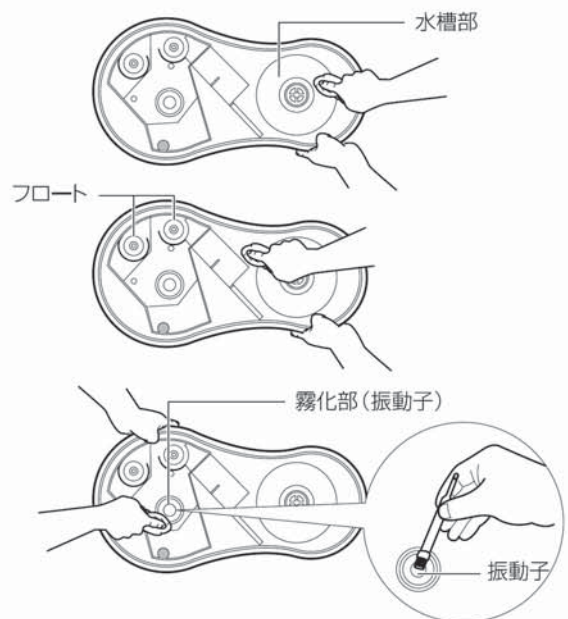
- フロートの回りにゴミなどが入っていないか確認し、ゴミなどがある時は取り除いてください。
- 細部の汚れは、付属のブラシで落としたあと、柔らかい布で拭き取ってください。

### 霧化部

- 振動子の表面に付着した汚れは、付属のブラシを軽くあてて落としたあと、柔らかい布で拭き取ってください。

### お願い

- 振動子の表面を金属ブラシや金属ヘラ、研磨剤入りのタワシやミガキ粉などで絶対にこすらないでください。変形したり傷がつくと加湿量が弱くなったり、故障の原因になります。



## 水タンク・吹き出しノズル(給水時に)

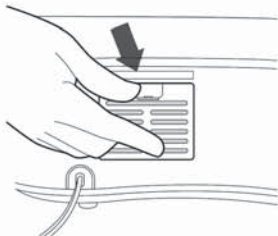
- 1 吹き出しノズルをはずし、水タンク内に残っている水を捨てる  
吹き出しノズルをつけたまま排水すると吹き出しノズルが落下する場合があります。必ず先に吹き出しノズルをはずしてください。
- 2 水タンクの給水口より少量の水を入れ、給水キャップをしめて、給水口を上側にしてよく振り洗いしたあと排水する。  
●2~3回繰り返してください。  
給水キャップを下側にしたり強く振りすぎると給水口より水が飛び出す場合があります。
- 3 吹き出しノズルの汚れを水洗いしたあと、柔らかい布で拭き取る。

水タンクに衝撃を与えますと破損して水漏れの原因になります。  
万一、水タンクに大きな衝撃を与えてしまったときは、ご使用を中止し弊社サービスセンター(15ページ)にご相談ください。

## 吸気フィルターのお手入れ(1ヶ月に2回以上)

### はずしかた

- 本体底面の吸気フィルターを図のようにはずしてください。



### ⚠ 注意

吸気フィルターをはずす前に必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

### お手入れ

- 吸気フィルターに付着しているホコリを掃除機で吸い取るか、軽く水洗いしてください。
- 汚れが落とすにくい場合は、やわらかいブラシ等で軽くこすってください。
- 吸気フィルターを水洗いしたときは、水をよく切ってからかけ干しをして、完全に乾かしてください。

### お願い

ほこりがたまると、誤動作や故障の原因になります。  
早めに掃除してください。

### 保管のしかた

- お手入れしたあと水をよくふき取り、水タンクや本体を日かげで、完全に乾かしてください。
- 水タンクや本体内に残り水がないか確認してください。
- 水タンクや本体を組み立ててポリ袋などで包み、もとの梱包ケースに入れて湿気の少ないところで保管してください。

### ⚠ 注意

湿ったまま保管するとカビの発生や、故障の原因になります。よく乾かしてから保管してください。

# 修理を依頼される前に

「故障かな?」と思ったときは、次の点をお調べください。

このようなとき	お調べいただくこと	処置のしかた	
霧が出ない	差し込みプラグはコンセントに確実に差し込まれていますか?	正しく差し込んでください。	<b>7ページ</b>
	給水の表示(赤色)が点灯していませんか? (水タンクの水がなくなっていないですか?)	水タンクに給水してください。	<b>6ページ</b>
霧の出が悪い	弱運転になっていませんか? (表示パネルが強制弱モードを表示していませんか?)	タイマー/弱運転ボタンを押し自動運転にしてください	<b>9ページ</b>
	振動子の表面に水あかなどの汚れが付着していませんか?	振動子のお手入れをしてください。	<b>11ページ</b>
あたたかい霧にならない	室内の湿度が50%以上に上がっていませんか?	故障ではありません。 自動運転が高湿度を検出したためです。そのままご使用ください。	<b>8ページ</b>
	運転を開始した直後ではありませんか?	故障ではありません。 あたたかい霧が吹き出すまで10~20分程度かかります。(ヒーターが過熱してから水槽内の水をあたたかくするまで時間がかかります。)	<b>9ページ</b>
現在湿度表示が湿度計の値と大きく違う	吸気フィルターにゴミがたまっていますか?	吸気フィルターを掃除してください。 また、同じ部屋でも場所によって湿度は異なるため、差が出る場合があります。	<b>12ページ</b>
	窓際など外気の影響を受けやすい場所に設置していませんか?	外気の影響を受けにくい場所に設置してください。	
吹出口からの霧がにおう	古い水を使用していませんか?	【お手入れのしかた】にしたがって、お手入れをし、新しい水道水と入れ替えてください。	<b>11ページ</b>
	水槽部や霧化部に水あかやゴミがたまっていますか?		
「ポコポコ」と音がする	水タンクから本体に給水する音です。	故障ではありません。 そのままご使用ください。	
「ブーン」と音がする	送風ファンの回る音です。		

# 消耗部品について

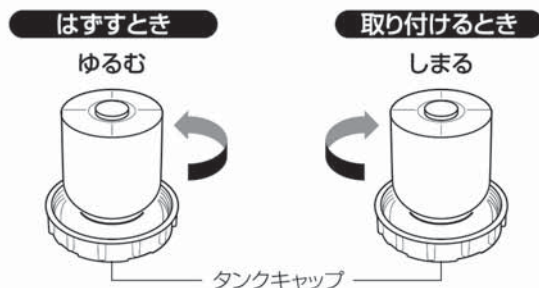
## イオン交換フィルターについて

- イオン交換フィルターの有効処理能力は約400リットルです。それ以上ご使用になると、水道水中の硬度成分（カルシウムやマグネシウムなど）の除去能力が低下し、白粉の発生量が多くなります。
  - 交換のめやすは、自動運転時で約180日です。  
（1日あたりの加湿器運転時間を約6時間として。）
- ※ご使用頻度や水質によっては交換の時期が早まりますので、白粉の発生状況に注意してください。

### お求めは

- お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。

部 品 名:イオン交換フィルター  
部品コード:EX-0531-00  
(サービスセンター:TEL.048-624-5526)



## 仕様

品番	KJ-445HF	電源	AC100V 50-60Hz
消費電力	140W (弱運転時:125W)		
加湿量	自動運転(強運転時) : 約500mL/h 弱運転時 : 約200mL/h		
タンク容量	約4.5L		
最大加湿時間 (最大運転時)	自動運転(強運転時) : 約11時間 強制弱運転時 : 約22時間		
適用床面積(めやす)	木造和室 5~14m <sup>2</sup> (3~8畳) コンクリート洋室 9~23m <sup>2</sup> (6~14畳)		
外形寸法	幅350×奥行190×高さ305mm		
電源コードの長さ	1.8m	質量	3.4kg

※加湿量・連続加湿時間は、室温20℃・タンク満水の場合です。

## 保証とアフターサービス

- この製品には保証書がついています。  
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。  
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間後の修理は・・・  
販売店または当社サービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。  
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### この製品についてのご質問は

株式会社 シー・シー・ピー サービスセンター  
〒331-0058 埼玉県さいたま市西区飯田427  
TEL.048-624-5526 / FAX.048-624-5547  
営業日 月曜～金曜(但し、祝日は除きます。)  
お電話受付時間 9:30～17:00

## 愛情点検

### 長年ご使用の加湿器の点検を！



#### このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 運転中、異常な音がする。
- 本体が変形したり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから差し込みプラグを抜いて、必ず販売店または当社サービスセンターに点検をご相談ください。



株式会社 シー・シー・ピー

本社: 〒332-8521 埼玉県川口市栄町3-1-8

大阪支店: 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-8-14 肥後橋SKビル6階

TEL.(048)254-1004(ダイヤルイン)

TEL.(06)6444-2122(代)